



日本クルーズ＆フェリー学会

会員乗船記 / No.3 June 2018

“QUEEN MARY 2”

サウサンプトン～ル・アーヴル～ハンブルク乗船記

文・写真 藤木 洋一

4月に”QM2”の10Night Eastbound Transatlantic Crossing Hamburg の区間クルーズで、サウサンプトン～ル・アーヴル～ハンブルク 6日間（海側船室）が約 11 万円（成田からの航空運賃込み）という破格の値段で売り出されました。成田～サウサンプトン、ハンブルグ～成田の移動はイスタンブール経由で北九州の自宅から約 30 時間かかり、尚且つロンドン・ヒースロー空港から本船乗船場所、ハンブルグ港下船後ハンブルク空港までの交通手段は個人手配が条件のハードな旅ですが、何よりもエルベ河の遡航に興味があり 5 月 23 日から 29 日まで出かけてきました。

“QM2”的船客が少なくて安売りしているのではないかと思いつきやパーサーズ・オフィスに確認するとなんと 2,500 人（定員 2,705 人 内日本人 95 人）が乗船しているとのことでした。

サウサンプトンでは、”QE” “BRAEMAR” “MCS MAGNIFICA” が寄港しており 5 月 24 日 17 時 30 分大雨の中、”QE” がスペイン・バルマに向けて先に出港して行きました。

翌 25 日 5 時 30 分視界約 150m の濃霧の中をル・アーヴル港のピレ・カレット埠頭(Quai Pierre Callet)に接岸しました。サウサンプトンを 20 時に出港した”MCS MAGNIFICA” が 7 時に入港予定でしたが濃霧で確認が取れませんでした。8 時 30 分市内観光のためシャトルバスで移動中、濃霧の中に本船の船尾を見て予定通り入港したことを知りました。午後、霧が晴れ港の様子が解るようになったので散策に出かけました。ル・アーヴル港は干満の差が大きいため水門で内港と外港に分かれており、外港には”MCS MAGNIFICA” が接岸しているクルーズ・ターミナルやポートマス行の Brittany Ferries の桟橋がありました。

同日 19 時、”QM2” はル・アーヴルを出港、続いて 19 時 30 分 “MCS MAGNIFICA” がスペイン・ラコルニアに向けて出港しました。港口で郵船のコンテナ船”NYK FALCON” と反航しました。”QM2” は、17 ノットで北上し、26 日 5 時、ドーバー海峡でイギリス・ドーバーとフランス・カレーを結ぶ DFDS Seaways のフェリーが横切りましたが船名の確認は取れませんでした。5 時 30 分ドーバー海峡通過し、北海に出ると”QM2”的周りに同航船、反航船の姿が次第に増え、周囲には北海油田の権も多くみられるようになりました。”QM2” は徐々に速力を上げ 12 時には 19 ノットでオランダのワッテン諸島沖をエルベ河口に向けて航海を続け、23 時 59 分エルベ河河口でリバー・パイロットを乗船させ、速力約 12 ノットで遡航を開始しました。

翌 27 日 5 時過ぎに夜明けを迎え速力を約 7 ノットに減速して遡航を続け、途中 2 隻のコンテナ船と反航しました。6 時にハンブルグ港外でハーバー・パイロットが乗船して 7 時に新しく出来たシュタインヴェーダークルーズ・ターミナルに接岸しましたが、ハンブルグ港のあるエルベ河の川幅は約 363m そこで全長 345m の本船がタグを使わずに 180 度回頭して後進で進みさらに左に回頭してターミナルに接岸する操船技術は圧巻で感動を感じました。9 時 30 分に下船して予約しておいたシャトル・バスでハンブルグ中央駅へ向かいました。シュタインヴェーダークルーズ・ターミナルからハンブルグ中央駅までは約 40 分かかりました。その後、ハンブルグ国際海事博物館に立



大雨のサウサンプトンを出港する”QE”と”QM2”

ち寄りました。この博物館は古い倉庫を改造した 10 階建て 11,000 m² の建物で世界最大の規模を誇ります。展示品は 1/1250 のダイキャスト・モデルを始め世界の商船、軍艦模型や海洋画家など多数あり全て見て回るには最低 3 時間は必要です。同館の中では、ハンブルグ港を紹介する書物、船舶の絵葉書、模型などが販売しております。また、レストランも併設しており、1 日中閲覧することも可能です。



QE2 クルーズ・ターミナルに接岸するフレッドオルセン・クルーズの "BRAEMAR" 24,344GT 1993BLT
Ex "CROWN MAJESTY"



ル・アーヴル クルーズ ターミナルに接岸する" MSC MAGNIFICA" 背景は" QM2"



ル・ハーヴル～ポーツマス間に就航するフェリー "BAIE DE SEINE"



ル・アーヴル港全景 “QM2”は一般岸壁に接岸

ル・アーヴル港に入港する日本郵船のコンテナ船
"NYK FALCON" 144,277GT 139,500DWT 2017 建造

" CAP SAN ANTONIO" 118,938GT

北海をハンブルグに向かう。



エルベ河でコンテナ船" BALTIC PETREL" 16,324GT "MITO STRAIT" 9,910GT と反航

シュタインヴェータークルーズターミナルに
接岸作業中の QM2 と
"COSCO SHIPPING TAURUS" 199,000GT(左)

ハンブルグ国際海事博物館



1/1250 ウォーターライン モデル



"MSC FANTASIA"

"BREMEN"



戦艦 "BISMARCK" "TIRPITZ" 大和



船舶画 油彩